

【国際交流】理学療法学科3年生14名がドイツ研修に行ってきました

平成28年9月12日から24日の13日間、理学療法学科3年生14名が、例年同様ドイツ・フレゼニウス大学での研修に行ってきました。

フレゼニウス大学は、ドイツ各所にキャンパスがある大学です。今回も昨年同様フランクフルト、ミュンヘンのキャンパスを中心に訪問研修を実施し、様々な講義体験や実技体験、さらには日独合同でのグループワークやプレゼンテーションの実施、さらにバラエティーに富んだ施設見学を実施しました。ドイツの理学療法事情を実地に学び、学生の家にもホームステイするなど、学習面でも交流面でも意義深いものとなりました。

また”Functional Movement”をテーマに、日独の学生が混合のグループワークを実施し、与えられたテーマに対して理学療法臨床思考過程についてディスカッションしながら共同発表をしました。基本的な理学療法の視点は同じであっても、文化の違いによりそのスタイルが違うことを実感できました。特に本学の学生たちにとってはプレゼンテーション、コミュニケーション能力は先方の学生から多く学び取れたのではないのでしょうか。とはいえ慣れない英語を介してお互いの交友は強く深めており、最終日は両学生ともに涙のお別れだったのが感動的でした。

来年2月には、今回我々を迎えてくれたフレゼニウス大学の学生たちが高崎に研修に訪れます。再会を今から心待ちにするとともに、来日研修も実りあるものにしていきたいと考えています。高崎健康福祉大学とフレゼニウス大学は、理学療法学科間において今年度より教員交換が開始となります。今後も短期学生間交流だけでなく、いろんな形で意義深い交流となるように発展させていきます。

※本研修は、日本学生支援機構の留学生支援制度(短期派遣)に採択され、奨学金を得て実施されました。



講義体験

施設見学

グループワーク